

2-8 福島県におけるラドン観測 (IV)

Radon Observations in the Eastern Part of Fukushima Prefecture (IV)

東京大学 理学部

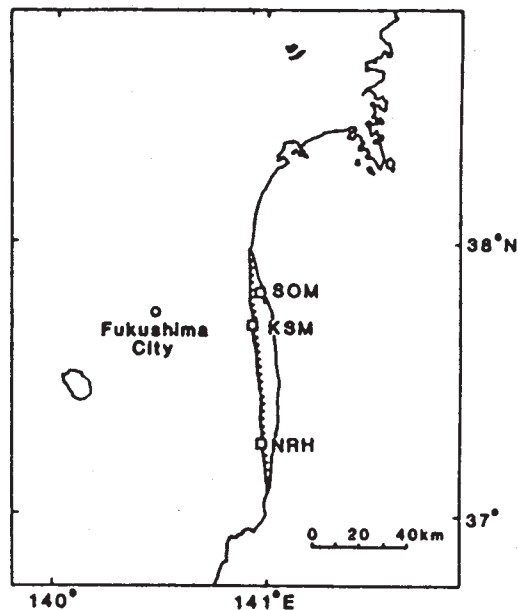
Faculty of Science, The University of Tokyo

前報¹⁾にひきつづき、福島県東部における地下水中のラドン濃度の連続観測結果(1984年11月から1985年11月まで)を報告する。

今回報告する結果は、第1図に示す相馬(SOM)、鹿島(KSM)及び楡葉(NRH)の3地点である。第2図はSOM、KSM、NRHにおける記録で、前回と同様に1時間毎のラドン濃度(積算値)の24点移動平均値を、この期間の平均値に対する相対値で示したものである。NRHでは3月と7月に機器の調整等を行なったため、記録にギャップが生じたので、別々に平均値を取っている。KSMの今回の平均値は誤差の範囲内で前回報告した平均値と一致する。長周期の変動(年周変動)はKSM、NRHでは夏期に高く冬期に低いパターンを示すのに対し、SOMでは顕著な年周変動は見られない。連続記録上の短周期の変動は、主として気圧変動による影響と考えられる。

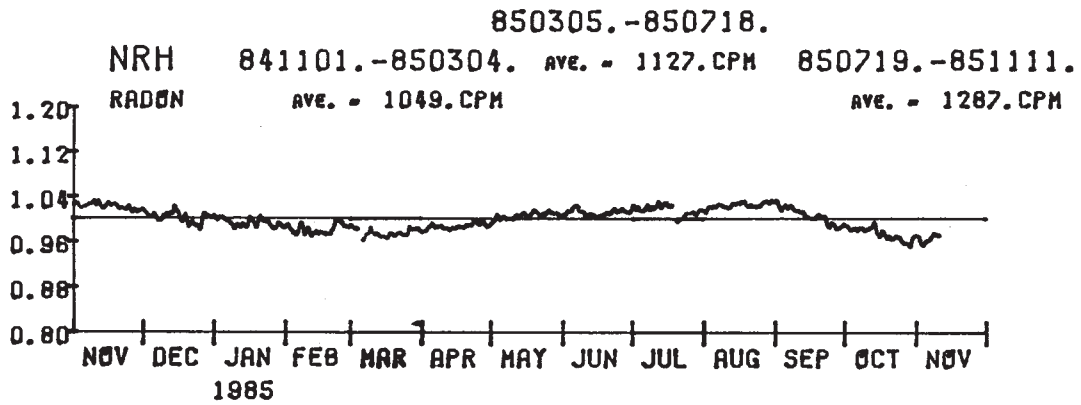
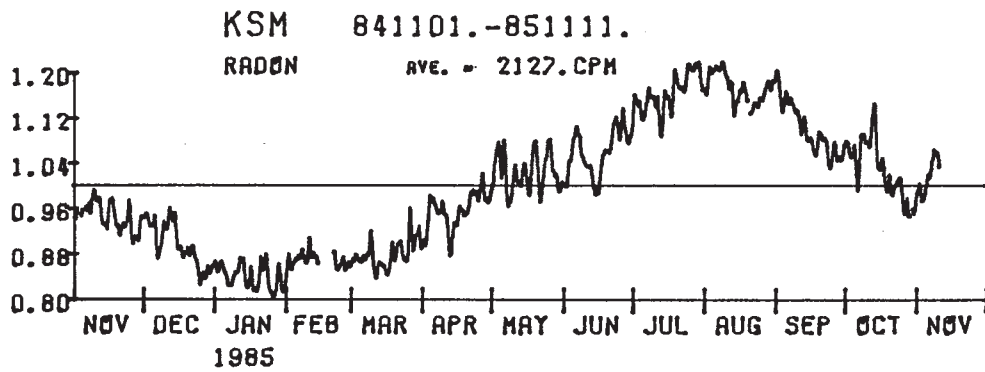
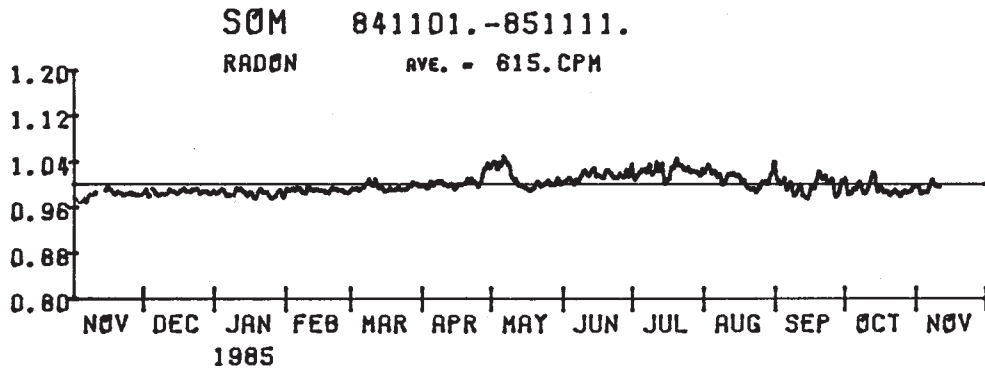
参 考 文 献

- 1) 脇田 宏・中村裕二・佐野有司:福島県東部におけるラドン観測(1984),連絡会報, **33**(1985), 40-41.



第1図 福島県東部の地球化学観測点の位置

Fig. 1 Locations of geochemical observation sites in the eastern part of Fukushima Prefecture (SOM: Soma, KSM: Kashima and NRH: Naraha).



第2図 SOM (相馬), KSM (鹿島), NRH (楢葉) における地下水中のラドン濃度の変化 (1984年11月 - 1985年11月)

Fig. 2 Temporal variations in the radon concentration in groundwater at SOM (Soma), KSM (Kashima) and NRH (Naraha). (November, 1984 - November, 1985).